

# 一部負担で小6まで拡大検討

横浜市会議員 こんの典人

## 小児医療費助成制度

29年4月から拡大

平成28年度の予算審議が始まっています。その中で私が関心を寄せている一つが、小児医療費の助成対象年齢の拡大とあわせ、一部自己負担金の導入検討が示されていることです。

具体的には、平成29年4月から対象年齢を現在の小学校3年生から6年生まで拡大することとし、28年度中に具体的な検討をすすめるといふものです。

## 既に負担金導入の都市も

神奈川県内においては一部負担金を導入している自治体はありませんが、他の指定都市の事例としては、札幌市・仙台市では初診料の580円のみ負担、大阪市・神戸市では通院1回につき500円、京都市では2歳児まで200円・3歳児からはひと月の上限額を3000円まで自己負担など、があります。負担す

る額や対象年齢を含め自治体によって内容は様々です。

## 決断を評価

私の所属する民主党横浜市議員団は、市長への予算要望の中で「小児医療費助成の対象拡大と所得制限の撤廃」を求めてきました。昨年10月に小学3年生まで1学年分引き上げられたのに続き、29年4月からはいえ小学6年生までの引上げを示したことは大きな決断だと私は評価します。



すると市の負担は年間15億円新たに必要になると試算されています。私は、厳しい財政状況の中、対象年齢を拡大するために

拡大するために

民主党横浜市議員  
こんの典人事務所

緑区鴨居3-1-14-105

☎045-929-3030

☎045-342-4330

✉n-konno@hi-ho.ne.jp

http://www.hi-ho.ne.jp/n-konno/

市民相談を受け付けています。

お気軽にご連絡下さい。